

「持続可能な 社会の創り手育成事業」

結果報告BOOK 2024



「持続可能な社会の創り手育成事業」とは

社会課題の解決に取り組むNPOに対して、SDGsの普及促進を図ることにより、NPOの活動の可能性を広げます。

また、NPOとSDGsに取り組む企業や大学等との協働を促進することで、多様な主体が社会全体で地域活動を支えていく、持続可能な社会の創り手を育成していきます。

当事業は上記を目的として実施する事業です。

全体スケジュール

7/14(日)、28(日)	SDGsセミナー (岡崎と名古屋で開催)
8月下旬	NPOアワード参加8団体選考 ※SDGsセミナーに参加された NPOの中から選考
~9月	NPOアワードに向けたプレゼン研修 合同研修 (Zoom) 個別研修 (対面) 8団体
9/29(日) 10/12(土)	NPOアワード 9/29(日): 県民の皆様に対しプレゼン (ウイングあいち(名古屋市)) 10/12(土): 寄附金贈呈式 (Aichi Sky Expo(常滑市)) 8団体
12月~2月	県民の皆様が NPO活動を実地体験 2団体

目次

Contents

01	SDGsセミナー	
	1. 開催概要	03
	2. 開催実績	04
	3. 参加したNPOの声	04
02	NPOアワードに向けたプレゼン研修	
	1. 研修内容	05
	2. 参加したNPOの声	06
03	NPOアワード	
	1. 開催概要	07
	2. 開催実績	09
	3. 発表したNPOの声	15
	4. 参加した県民の声	15
04	協働支援	16
05	実地体験	
	1. 開催実績 ❶	17
	2. 開催実績 ❷	18
06	参加NPO紹介・寄附金活用状況	19
07	持続可能な社会の創り手育成事業のまとめ	27

1. 開催概要

SDGsに関する概要説明等を通じて、NPOの職員がSDGsに関する理解を深めるとともに、自団体の取組とSDGsの関係を分析し、現状を把握することを学び、企業との協働の可能性を広げるためのセミナーを開催しました。

1 スケジュール

開催会場	日時	参加者
岡崎会場 岡崎市図書館交流プラザ	7月14日(日) 14:00～16:30	12名 (会場:9名、 オンライン配信:3名)
名古屋会場 ウィンクあいち	7月28日(日) 14:00～16:30	29名 (会場:19名、 オンライン配信:10名)

2 内容

▶ SDGsセミナー研修

講師：戸成司朗氏(一般社団法人中部SDGs推進センター 代表理事)

内容：「SDGsに取り組む意義」

「企業のパーパス(存在意義)とNPOのミッション(使命)の親和性」

3 講師紹介



一般社団法人 中部SDGs推進センター 代表理事
戸成司朗 氏

35年間セゾングループ(株)西友に勤務、2007年執行役副社長を最後に退任、この間に日本チェーンストア協会初代社会貢献委員長を務める。

自宅の在る日進市に戻り、第二の人生を社会に貢献したく、同年住友理工(株)に入社、CSR部長、アドバイザーとして、価値創造型CSRを推進してきた。又、2013年中部圏の企業人の社会参加を目指し、NPO法人中部プロボノセンターを設立し顧問を務める。又、中京大学大学院にて客員教授としてソーシャルビジネスを教える。

2019年一般社団法人中部SDGs推進センターを設立、代表理事に就任しSDGsの普及啓発、実践指導を行っている。

2. 開催実績

SDGsセミナー研修

岡崎会場



名古屋会場



戸成講師より、「持続可能なNPOに向けて価値創造戦略を考える」と題し、未来から選ばれるNPOになるために、変革期の今、新たな視点で企業との協働を考えよう、と講義していただきました。

参加したNPOの方々からは、SDGsへの取り組みについて、真摯に向き合っている姿勢がうかがえました。また、企業と協働していく方法について、各団体それぞれの悩み、質問が多く発言されました。

3. 参加したNPOの声

持続可能な事業継続のために、ボランティア精神に頼るのではなく、役務に正しく給与として支払うことは必要と感じた。そのために、団体の持っている社会資本、自然資本を明確にし、ステークホルダーに訴求し費用を負担いただくことで、持続可能にNPOが発展できると思った。

企業との協働について、どのようにNPOとして関わっていくのかヒントがわかった。

活動の目的、企業にとってのメリットを言語化することの難しさ、必要性を改めて感じた。

これからの企業との連携は「社会貢献」ではなく、企業の抱える課題(社会課題)を協働で解決できるようなNPOからの提案やサポートが必要であることを学んだ。

貨幣でない新しい価値観の創出にモヤモヤしていたが、合理性から感受性への転換、文明的豊かさから文化的豊かさへの転換といった軸が明確化されて、感動した。

エンドユーザーを支援する人(企業の社員向けの支援サービスとコラボレーションする人事課など)と、よい出会いを見つける工夫と実行をしたい。

1. 研修内容

選定されたNPO8団体に対し、NPOアワードにおいてより効果的なプレゼンテーションを実施するため、また、伝える力を身につけることにより資金調達力の向上につなげるため、効果的な資料の作成方法やプレゼンスキルを学ぶ「NPOプレゼン研修」を実施しました。

合同研修

日時: 8月25日(日) 13:30 ~ 15:30

方法: オンライン(Zoom)にて、NPOアワードに参加する8団体の他、選定外となった団体も参加して実施

講師: 戸成司朗氏 (NPO法人中部プロボノセンター 顧問)

内容: 「SDGsの推進に貢献しNPOと企業との協働に向けた共感するプレゼンテーション」と題し、自団体との協働の有効性を示す大切さや、「伝える」から「伝わる」を意識したプレゼンテーションのノウハウを講義しました。



受講後、ノウハウに沿って各団体にてプレゼン資料を作成



個別研修

日時: 9月12日(木) 13:15 ~ 16:30
9月13日(金) 13:15 ~ 16:30

場所: 9月12日(木) 岡崎市図書館交流プラザ
9月13日(金) ウイングあいち

講師: 戸成司朗氏 (NPO法人中部プロボノセンター 顧問)

内容: 参加した8団体のそれぞれが作成したプレゼン資料に対し、個別指導(45分/1団体)を行いました。まずは、本番と同様の形で実際にプレゼンし、講師より具体的に「こうした方が伝わる」とアドバイスしました。
皆さん、より多くの共感を得られる資料とするべく、熱心に指導を受けていました。



プレゼン資料をブラッシュアップ



個別
最終確認

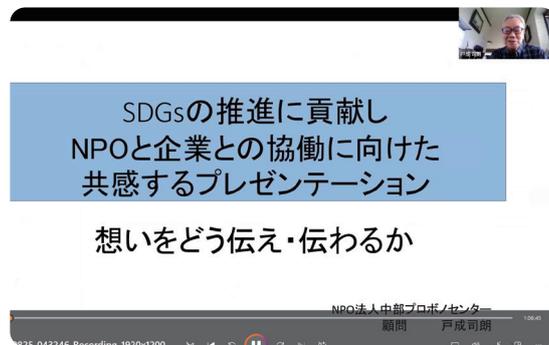
日時: 9月23日(月) 14:00 ~ 16:30
9月25日(水) 15:30 ~ 18:45

講師: 戸成司朗氏 (NPO法人中部プロボノセンター 顧問)

内容: オンライン (Zoom) にて、講師より最終チェック (30分/1団体) を行いました。皆さん、先の個別研修での指摘事項をしっかりと直しており、微修正のみで無事確認を終えました。

NPOアワードに向けプレゼン資料を最終仕上げ

合同研修の様子



個別研修の様子



2. 参加したNPOの声

対面での個別研修が特に良かった。大変勉強になった。

研修の回数や日程、所要時間など、ちょうどよいと感じた。様々なサポートに感謝しているが、会場が遠かった点が少し負荷がかかった。

当初はスケジュールがタイトだと感じたが、アクセルをきちんと踏み、息切れしない程度にきちんと終わるためには、今振り返ってみれば順当・適当だった。合同研修や個別最終確認はオンラインだったので、とても助かった。

研修前はこの回数でプレゼンが仕上がるだろうか、という不安もあったが、合同研修の中ではプレゼン作成の過程を、個別研修の中では修正を含め聴く人に届くためには何を核に示さなければいけないかを伝えてもらい、受講日程も調整ができたので不便は感じなかった。合同と個別、個別最終確認の期間があったことで、終わってみて主体性をもって自分たちがプレゼンを作るという研修になっていたことを感じた。

回数、所要時間は丁度良かった。ただ日程は団体の事業と重なることが多くかなり厳しかった。

1. 開催概要

県民の皆様にもNPOのことをもっと知っていただくため、「みんなで選ぶ『NPOアワード』」を開催しました。

このNPOアワードでは、SDGsや地域課題解決に取り組むNPOが活動の発表を行い、それにより参加者が共感したと思ったNPOに投票します。そして、参加者からの投票結果と審査員による審査結果に基づき、協賛団体から参加したNPOに寄附金が贈呈されました。

1 スケジュール

日時	開催会場	内容	参加者
9月29日(日) 13:30~16:30	ウインクあいち	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 8団体のプレゼンテーション ・NPOとの意見交換会 ・最も共感したNPOに投票 ・企業や学校によるSDGs取組事例の紹介 ・結果発表 	37名 (会場:32名、 オンライン配信:5名)
10月12日(土) 12:45~13:45	Aichi Sky Expo 展示ホールC [SDGs AICHI EXPO 2024] メインステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・企業や学校、NPOによるSDGs取組事例の紹介 ・投票結果等に基づき、協賛団体から寄附金の贈呈 ・「住友理工株式会社賞」「愛知株式会社賞」 受賞NPOによるプレゼンテーション 	約40名

2 参加NPO

参加NPO(所在地)	主な活動内容
NPO法人いるから (名古屋市天白区)	予期せぬ妊娠をした女性の選択を尊重し、自分らしく生きることを支援
親子コミュケの会 (豊田市)	孤育てにならないよう子育て世帯の人、もの、民間、公共もつなぐ
NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊 (田原市)	きれいな海を守る心を広げるために毎月のクリーンアップ活動
NPO法人Grow & Leap (名古屋市東区)	社会全体で中高生を支え、持続可能な社会の創り手を育成しています
NPO法人SmileyDream (知多郡武豊町)	その人が持っている力を活かした寄り添い型支援を行っています
0_COLOR (犬山市)	LGBTQ+を知ってもらい、全ての人が生きやすい世の中をつくる
NPO法人てんぱくプレーパークの会 (名古屋市天白区)	「なにをしてもいい」「なにもしなくてもいい」自分の意志で自由に遊ぶ
ねんねサロン岡崎 (岡崎市)	夜泣きをする赤ちゃんと、寝かしつけに悩む保護者をなくします

3 内容

9月29日(日)

- ▶ NPO 8団体のプレゼンテーション  P9 ①
- ▶ NPOとの意見交換会  P12 ②
ファシリテーター: 原田さとみ氏
- ▶ 最も共感したNPOに投票  P12 ③
- ▶ 企業や学校によるSDGs取組事例の紹介  P13 ④
企業: 住友理工株式会社、愛知株式会社
学校: 中部大学春日丘高等学校
- ▶ 結果発表  P13 ⑤

10月12日(土)

- ▶ 企業や学校、NPOによるSDGs取組事例の紹介  P14 ⑥
企業: 住友理工株式会社、愛知株式会社
学校: 中部大学春日丘高等学校
NPOと大学の協働: NPO法人とこっ子と日本福祉大学
- ▶ 投票結果等に基づき、協賛団体から寄附金の贈呈  P14 ⑦
- ▶ 「住友理工株式会社賞」「愛知株式会社賞」受賞NPOによるプレゼンテーション  P14 ⑧

4 協賛団体

協賛団体は、SDGsや社会貢献活動(CSR)に熱心に取り組んでおられ、本事業の趣旨に賛同された以下の2社で、各30万円の寄附金をいただきました。

- ・住友理工株式会社(名古屋市中村区)
- ・愛知株式会社(名古屋市東区)

2. 開催実績

9月29日(日)

1 NPO8団体のプレゼンテーション

様々な分野で活動するNPO8団体から、それぞれ活動内容等のプレゼンテーションが実施されました。



司会 原田 さとみ 氏

エンカル・ペネロップ(株)代表
(一般社団法人)日本エンカル推進協議会 理事



NPO法人いるから

テーマ 「学校やめて産みます。」

学校をやめて子どもを産んだらどうなるでしょう。想像したことがありますか？学校をやめると、その後の非正規雇用につながり、女性の貧困という結果を招きます。私たちの法人は赤ちゃんの0日死亡をなくしたいとの思いから相談窓口を設置して、予期せぬ妊娠をした女性の選択を尊重し自分らしく生きることを支援しています。また、そうした困難な状況にならないよう、包括的性教育も行っています。



協働に向けたメッセージ

学校に対しては、当事者の相談にあたる際、必要であれば関わり、また性教育を実施することで引き続きつながっていきます。また、相談窓口や性教育研修などで企業とも連携したいと考えています。ぜひご連絡ください。

親子コミュケの会

テーマ 「子育てにやさしい街にチャレンジ」

子育てはともすれば孤育てと言われ、家で母子が二人きりとなりがちです。豊田市では二人に一人が子育て中に孤独を感じたとのアンケート結果もあります。親子コミュケの会は、だれもが子育てにやさしい街となる未来を描き活動しています。それは、虐待やストレスが減り、相談ができ誰でも情報が受け取れ、楽しく笑顔で安心して子育てができる街。子連れに優しい人が、店が、企業が増えていく街です。



協働に向けたメッセージ

企業の皆さん、ベビーマッサージ、パパ交流会、えのぐあそび・親子あそび等の子育て関連の講座に参加してみませんか？子ども用品や制服の子育てリユース活動もあります。みんなでつながり孤育てを減らしていきましょう！

NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊

テーマ 「きれいな海を守る心を広げるためのプロジェクト」

2050年には世界で海のゴミが海の生き物の数を超えると言われています。私たち亀の子隊は、1998年から渥美半島西の浜の環境改善のため、海洋漂着ゴミと向き合い、海・海の生き物と触れ合う活動をしています。「西の浜はゴミ箱じゃない！」をスローガンとした西の浜クリーンアップ活動を中心に、「海の大切さ・よさを知る体験的環境学習プログラム」や「気づきを伝える広報プログラム」も実施しています。



協働に向けたメッセージ

学校、企業の皆さん、ぜひ海のクリーンアップ活動に参加して海の現状について考えてください！海はすべての命の源です。大昔の人たちのようにもっともっと海を大切に、21世紀に生きる私たちはきれいな海を守っていきましょう！

NPO法人Grow & Leap

テーマ 「フツの会社員だったわたしがNPO法人を設立してまで
やりたいことができた理由」

中学生は蝶になる前のサナギの時期。そんな若者の3人に1人がやりたいことが見つからない、わからないといった悩みを抱えています。私はその中高生の無限大の可能性に気づき、「個性(感じたこと、考えたこと)」を起点とした自分らしいキャリアデザインを促す教育活動を始めました。「自分の望む方向のために必要な情報や行動は何かを分かって行動する力をつける教育」により中高生の可能性を広げています。



協働に向けたメッセージ

活動は、多様なステークホルダーとのパートナーシップによって実現しています。大企業のCSRやオープンイノベーション、中小企業の経営者、起業家からの専門知識の共有等があげられます。ぜひ中高生を応援してください。

NPO法人Smiley Dream

テーマ 「[たすけて]を聞き逃さない～待つから届ける支援へ
～一人じゃない！わたしがいる！」

武豊町のネグレクト児童虐待死事件から20年以上が経ちました。この間、子育て支援は確かに充実してきていますが、20年以上ずっと子育て支援の課題は「家から出てこれない人への支援」です。私たち法人は今までのような待つだけの支援では児童虐待や子育てをしながら働く女性の離職は減らないと考え、想いを同じくした行政と家庭訪問型子育て支援を始めました。待っていても聞こえてこない「たすけて」を聞きにいき助けています。



協働に向けたメッセージ

企業の皆さん、私たちと一緒に子育て中の社員を笑顔にしませんか？育休中、育休明け社員向けの両立支援研修も充実しています。誰にでも起こり得る児童虐待の防止にもつながっていくと考えています。

0_COLOR

テーマ 「みんなでつくる誰もが自分らしく生きられる社会」

LGBTQ+を知っていますか？身近にはいないと思っていませんか？11人に1人、左利きやAB型の人と同じ位の割合で存在しています。私たち0_COLOR（ゼロカラー）は人それぞれが多様な存在であることを知り、それを認めながらお互いを尊重し合える、全ての人々が安心して過ごせる社会を目指しています。無理解、偏見、ハラスメントがなくなるよう、講演や研修をしたり、地域や企業のイベントでワークショップも開催しています。



協働に向けたメッセージ

学校や企業において、LGBTQ+についての理解研修を開催できます。企業の皆さん、多様な人材を採用しませんか？今までのこうあるべきという固定概念をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会を目指しましょう！

NPO法人てんぱくプレーパークの会

テーマ 「生きづらい時代にいる子どもたち～あほみたいに あそぶ～」

現在、小中高生の自殺者が増えています。(若者の死因の第1位。)また、2018年に虐待で亡くなった東京都目黒区の5歳女兒は、「あそぶってあほみただからやめる」という言葉を書き残していました。本来、子どもたちは遊びを通して成長し生きる力を育んでいくのに、その環境がなくなってきているのです。私たち法人は、あほみたいに遊ぶ＝自由に遊ぶことのできる、地域に開かれた自然豊かな遊び場を提供し、子どもたちを見守っています。



協働に向けたメッセージ

太白区の企業の皆さん、私たち法人とパートナーになって、地域の子もたちを一緒に守りませんか？てんぱくプレーパークは愛知県唯一の民設民営の遊び場です。赤字解消に向け、ぜひご協力をお願いいたします！

ねんねサロン岡崎

テーマ 「眠れるをスタンダードに、睡眠改善から始まる改革を」

日本は男女とも全世代、睡眠時間が世界ワースト1位です。睡眠の質が高い職場ほど利益率が高いとのデータもあります。子育て中の方は子どもの夜泣きで親子ともに睡眠不足となっていないませんか？ねんねサロン岡崎は、「寝かしつけに悩む保護者と夜泣きをする赤ちゃんをなくしたい！」との思いで活動しています。「母だから耐えるべき、泣くのはあたり前」ではありません。我々は専門家として、夜泣きなどの睡眠トラブルの改善に対し、科学的根拠のある対応をアドバイスしていきます。



協働に向けたメッセージ

企業の皆さん、子育て中の社員が睡眠不足になっていませんか？子どもの睡眠改善で親の睡眠も改善され、仕事でもパフォーマンスを発揮できるようになります。社員向けセミナーや相談窓口の対応が可能です。ぜひお声がけください。

2 NPOとの意見交換会

NPOの活動についてもっと知っていただくため、御来場の皆様とNPOとの交流を行いました。



いるからさんへ 相談窓口の具体的な活動内容は？

まず電話相談は月、火、木、土、日の18:00～21:00が受付時間。学生さんの相談しやすさを考えこの時間帯にしている。メール相談の返信もこの時間帯。その後、求められれば行政や病院にも付き添う。



親子コミュケの会さんへ 活動が広がり過ぎて困っていることはないか？

自分たちが子育て支援を始めたことで、他の色々な団体さんもできてきた。自分たちとは違う内容の子育て支援が広がっていくことは、良いことだと思う。



亀の子隊さんへ ゴミを拾うことも必要だが、捨てないようにするにはどうすれば良いか？

海に来た人が捨てるゴミの量は少ない。それよりも遠くの陸地で捨てられた物が、川から海へと流れて大量に漂着している。この事実を知ってもらい意識してもらうことで、ゴミが減っていくと思う。



Grow&Leapさんへ 活動の原動力は？

中高生はピュアで、まっすぐな思いをぶつけてくる。そのエネルギーはすごいと思う。返って自分の勉強になることもあるので、それが原動力だと言える。



Smiley Dreamさんへ 活動のモチベーションはどうキープしているのか？

今まで表彰された経験もあり、他から認められること。また、次世代の人材育成にも使命感がある。更に、今回のような企業との協働を考える機会等、新たな企画もモチベーションとなる。



0_COLORさんへ 企業での研修で心がけていることは？

まずは知ってもらうことが大事と思い研修している。LGBTQ+に関するだけでなく、全ての思い込みや偏見をなくそうと伝え共感を得ている。



てんぱくプレーパークの会さんへ 改めてあほみたいに遊ぶとは？

子どもたちが主体となって、自らの意思で自由に遊ぶこと。見守っている大人たちも、一緒にあほみたいに遊ぶことが大事。



ねんねサロン岡崎さんへ 赤ちゃんの寝かしつけのコツとは？

まずは寝室の環境を赤ちゃんに適した温度にするところから。また、生活リズムを整えることも大切。早く起きて早く寝ることを繰り返し習慣づけると寝つきがよくなる。



3 最も共感したNPOに投票

会場の参加者は、最も共感し、参加したいと思ったNPOを選び、投票用紙に理由を記入し、投票しました。



4 企業や学校によるSDGsの取り組み事例の紹介

住友理工株式会社事例発表

私たちは、「人・社会・地球が調和した持続可能な社会」の実現を目指しています。SDGs達成への取り組みとしては、パートナーシップ(協働)で取り組むCSR・社会貢献活動の一つとして、小牧市自然共生パートナーシップダイアログ2023を開催しました。今後も産・学・官・民協働による活動を地域の皆様と共に推進し続けていきます。社会課題解決、サステナビリティのカギは、多様なセクターによるパートナーシップ(協働)で！



愛知株式会社事例発表

私たちに、家具を通して「人が集い、学ぶ空間を豊かにしたい」という目的があり、2002年から「集いと学び空間をデザインする」を企業ポリシーとしてまいりました。このポリシーにSDGsの理念を加え、「人と地球が嬉しい集いと学び空間をデザインする」を、企業としてのパーパスとして再定義しました。このパーパスの下で、製品開発、製造、品質管理、総務、営業各部門で課題を設定し、現在取り組んでいます。



中部大学春日丘高等学校事例発表

私たちはインターアクトクラブという部員数約60名の部活動のメンバーです。児童施設や高齢者施設などで、目の前の人を笑顔にする活動をしています。また、2023年にNPO法人みんなのひみつきちを設立し、部活動時代から行っている「無料塾」にて地域の小中学生の勉強をみたり、料理教室や工作教室などを開催しています。この活動を昨年度のNPOアワードにて発表し、準グランプリを受賞しました。



5 結果発表

会場の参加者からの投票結果と審査員による審査結果に基づき、以下2団体の受賞が発表されました。

住友理工株式会社賞 …… NPO法人いるから

愛知株式会社賞 …… NPO法人Smiley Dream

10月12日(土)

6 企業や学校、NPOによるSDGs取組事例の紹介

住友理工株式会社事例発表

愛知株式会社事例発表

中部大学春日丘高等学校事例発表

※発表内容は9月29日(日)と同じです。
前ページをご参照ください。



NPO法人とこっ子と日本福祉大学の協働事例発表

2023年度NPOアワード審査員特別賞受賞のNPO法人とこっ子が、第3の居場所事業などの課題解決のため、福祉への理解・柔軟な発想を持った大学生の力を借りたいと考え、日本福祉大学社会福祉学部の学生との縁が結ばれました。課題について、まずは学生で仮説をたて、とこっ子職員との会議では、児童育成支援拠点と自立援助ホームに必要な「もの」「ひと」を挙げ整理しました。採用された学生の案もあり、今後、具体化していきます。



7 投票結果等に基づき協賛団体から寄附金の贈呈

9月29日(日)の投票結果と審査員による審査結果に基づき、各団体の受賞内容と寄附金額が発表されました。

そして、住友理工株式会社賞は経営企画部部長脇坂様から、愛知株式会社賞は代表取締役社長島本様から、それぞれ寄附金が贈呈されました。



賞	団体名	寄附金額
住友理工株式会社賞	NPO法人いるから	150,000円
愛知株式会社賞	NPO法人Smiley Dream	150,000円
入賞	親子コミュケの会	50,000円
入賞	NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊	50,000円
入賞	NPO法人Grow & Leap	50,000円
入賞	0_COLOR	50,000円
入賞	NPO法人てんぱくプレーパークの会	50,000円
入賞	ねんねサロン岡崎	50,000円

8 「住友理工株式会社賞」「愛知株式会社賞」受賞NPOによるプレゼンテーション

「住友理工株式会社賞」を受賞したNPO法人いるからと、「愛知株式会社賞」を受賞したNPO法人Smiley Dreamにより、改めてSDGs AICHI EXPO 2024の参加者に向けて、プレゼンテーションが実施されました。



3. 発表したNPOの声

受け入れていただいたこと、ご理解いただいたことを大変嬉しく思った。

私たちの事業内容は、課題解決(マイナスをゼロへ)というより未来創造(ゼロをプラスへ)の方が強い内容であり、一言で概要が伝わる事業内容ではないため、伝え方の工夫があると自覚している。当日参加されている方々の属性があまりわからないので、誰に向けてどんなテンションでどう伝えるべきかがあまり見えにくい中で発信している感覚があった。

聴講くださった参加者の方が複数、追いかけてまで、わざわざ声かけにきてくださったことが一番印象的だった。また、他の団体の発表でたくさんの学びを得ることもできた。当日つながることもできた。

研修の成果、練習を重ねたからだと思うが、自信をもって話をする事ができた。プレゼン作成や当日も活動仲間に支えてもらい、今後の活動の自信にもつながった。

他団体の活動をよく理解することができ、企業さま含め参加されていた方々とつながることができてよかった。

4. 参加した県民の声

8団体だったが、もっと色々な分野の団体の話が聞きたかった。若者、子供分野がやや多かった気がする。

継続して活動していくことの難しさをあらためて感じた。企業との協働は、金銭的なことだけではなく、団体にとってとても意味のあることだと思う。評価が難しく、対価を得られにくい活動ほど、行政や企業の共感や支援を受けられるかが活動を継続できるかの分かれ目かもしれないと感じた。

子ども、親子をテーマにした発表が多く、社会全体のテーマであることを再確認した。

どのプレゼンも非常によくまとまっており、甲乙つけがたい内容だった。

それぞれの発表資料や発表の仕方に個性があり、とても良かった。また、SDGsに対する取り組みの数の多さや、内容に驚かされ、とても良い時間を過ごせた。



県民が、NPOの活動を実際に体験することにより、社会参画・貢献を考えるための実地体験を行いました。

1. 開催実績 ① NPO法人Smiley Dream

概要

日時: 2024年12月22日(日) 12:30 ~ 15:30

場所: NPO法人Smiley Dream 事務所(知多郡武豊町)

参加者: 当団体に共感し応募した県民3名

内容: まず、ホームビジター養成講座の中の一つの講義である「地域の子育て支援の実際と連携」に同席させていただきました。武豊町子育て支援課の方から、子育て支援の現状を教えていただき、充実した支援はあるものの、まだまだ届ききれていない家庭もあることも知りました。

元々当講座の受講生は、そうした支援の届いていない家庭を訪問するホームビジターになるために受講されており、その方たちの真剣な姿に、きっと支援の輪が広がるはずと感じました。

続いて、アットホームな雰囲気の中、事務所内の様子を見学しつつ、団体の将来像もお聞きすることで、参加者の方々も地域の課題についてあらためて考えさせられているようでした。

当日の様子



参加者の声



真剣に聞いている受講生と、熱をもって話をしている講師の姿が印象的だった。

Smiley Dreamさんの将来像を、裏話も含めて見聞きできてよかった。



普段の声かけなど、困っている人とのつながりを持つことで、頼られるきっかけとなる。そんなきっかけづくりが大切だと思った。

2. 開催実績 2 NPO法人いるから

概要

日時：2025年2月2日(日) 13:00 ~ 16:00

場所：日本陶磁器センタービル 4階 多目的ホール(名古屋市)

参加者：当団体に共感し応募した県民8名

内容：まず、当団体が日頃学校でおこなっている中高生向けの性教育や、支援者向けの性教育についてデモの講義をしていただき、それを受講しました。

その後、参加者は以下の5ブースを興味ある所から回り、それぞれ体験をさせてもらいました。

- ①妊婦体験
- ②生理用品体験
- ③コンドーム体験
- ④性教育かるた体験
- ⑤電話相談員体験

参加者の皆さんは、今まであまり学んでこなかった性に関する知識について、それぞれ興味深く学んでいるようでした。

当日の様子



参加者の声



大人にとっても今日のようなプログラムは大切な機会だと思った。時代によっても変わる内容なので、オープンに話せる場があると良いと感じたし、家でももう少し話せる雰囲気を作りたいと思った。



全て初めての体験で、体験するとしないとでは、その後が全く違うと思った。



かるた、ゲーム、絵本、書籍など、性教育のツールが非常にたくさんあることを知った。特にかるたやゲームは子どもたちが繰り返し楽しみながら性について学んでいける有効なツールだと思うので、ぜひ学校現場で継続して使ってもらえるように活動してもらいたい。



体験ブースでは実物や実体験により臨場感を持って学べた。また、愛知県内で多くの子が望まない妊娠で悩んでいる実態も理解できた。性を知る方法に様々な工夫があり考えられていることに感心した。





NPO法人いるから



所在地：名古屋市天白区

📄 <https://www.irukara.org>

団体のミッション	予期しない妊娠をして悩み孤立している女性を支え、赤ちゃんの0日死亡をなくす。
今後のNPO活動における抱負	妊娠・出産・子育てに関わるすべての人に対して、中でも予期せぬ妊娠をした女性や家族、特に若年妊婦に寄り添い、その選択を尊重し、心身ともに安全に自分らしく生きることを支援します。また、多機関・多職種・官民が連携する支援体制の確立を目指します。
SDGs関連活動についての一言一言	予期せぬ妊娠をした女性の選択を尊重し、自分らしく生きることを支援します。
SDGs関連活動	<p>主な活動 ①, ③, ⑤, ⑧, ⑩, ⑬, ⑰</p> <p>妊娠葛藤相談事業: 妊娠葛藤相談窓口の運営、必要な場合は面談・同行支援を行います。</p> <p>①, ②, ③, ⑤, ⑩, ⑪, ⑬, ⑰</p> <p>短期居場所提供: 居所のない妊娠中の女性の居場所が見つかるまで、緊急一時的な居場所の提供</p> <p>①, ③, ④, ⑤, ⑧, ⑩, ⑪, ⑬, ⑰</p> <p>包括的性教育事業: からだや生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等など幅広く、well-beingの実現を目的としています。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 電話相談・メール相談、授業や仕事後に相談しやすい夜間、予期せぬ妊娠対応研修を受講した助産師・社会福祉士の専門職が複数で対応。情報提供や他機関へ同行支援などを行います。 * 登録助産所にて、食事を含む宿泊の提供と助産師等の専門職による支援を行います。 * 中学校・高等学校・専門学校などに性教育講座の提供や講師派遣。特に、特別支援学校・定時制高校・福祉施設に力を注いでいます。
企業・学校との連携	当事者の学校とつながることはもちろん、相談窓口や性教育研修などで企業とも連携したいと考えています。

well-beingの実現を目的とした性教育講座を学校にて開催します。

寄附金の活用状況	寄附金額	150,000円											
	概要	<table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>包括的性教育事業</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和7年4月～令和8年3月末</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>愛知県内</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>からだや生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等など幅広く</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>特別支援学校・高等学校定時制</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>6校(20～150人/1校)</td> </tr> </table>	事業名等	包括的性教育事業	日時(期間)	令和7年4月～令和8年3月末	場所	愛知県内	内容	からだや生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等など幅広く	対象	特別支援学校・高等学校定時制	参加人数
事業名等	包括的性教育事業												
日時(期間)	令和7年4月～令和8年3月末												
場所	愛知県内												
内容	からだや生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等など幅広く												
対象	特別支援学校・高等学校定時制												
参加人数	6校(20～150人/1校)												
具体的な状況	特別支援学校・高等学校定時制へ性教育講座の募集を行いました。												



親子コミュケの会



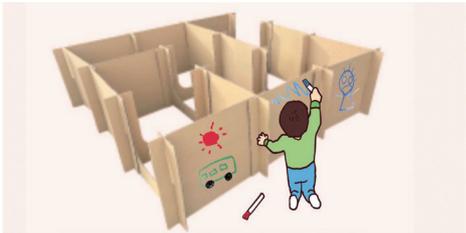
所在地：豊田市

<https://oyacomyu.wixsite.com/home>



団体のミッション	子育てにやさしい街にチャレンジしています。
今後のNPO活動における抱負	子どもたちの健全な成長を願って、まずは親世帯をママを中心に支援。講座や交流会を通じて、市内に結婚、出産等で引っ越してきた子育て世帯が緩くつながれるように活動。また、子育ての負担が軽減できるようまわりも巻き込んでいきたい。
SDGs関連活動についての一言宣言	孤育てをなくしてみんな子育てを応援！住み続けられる子育てにやさしい街にチャレンジしています。SNS・webを通じて子育て世代が子育て情報を受け取りやすくし、子育てに理解ある人を増やし、自ら主体となって行動できる人や場つなぎを目指します。また、制服や子育てリユース活動でつくる責任つかう責任のつなぎ役をしていきます！
SDGs関連活動	SDGs⑪ 子育て世代の支援やつながりを講座の開催やSNSなどをつかってつくる SDGs⑫ 子育て用品、制服などのリユースバザー開催 SDGs⑰ 子育て世帯とかかわる活動とつながり広報などの協力
企業・学校との連携	企業の皆さん、子育て関連の講座(ベビーマッサージ、パパ交流会、親子あそび等)や子ども用品・制服のリユースなどでつながりませんか？孤育てを減らしていきましょう！

「おもいっきりえのぐあそび！ 段ボール迷路・えのぐなど材料代、パパ交流会広報用ちらし制作費に利用しました」



子どもたちの自己肯定感をあげ、非認知能力を育む講座、普段なかなか子育ての話をする機会が少ないパパ交流会を開催。

寄附金の活用状況

寄附金額
50,000円

	事業名等	おもいっきりえのぐあそび！ ～段ボール迷路サーキットでたのしもう～	パパ交流会 ～パパの子育て情報局～
	日時(期間)	2025年1月18日	2025年1月26日
	場所	とよた市民活動センター	とよた男女共同参画センター
概要	内容	自分の「やりたい」を大切に、自分らしく自由に表現します。 えのぐあそびを通して、今、必要とされる「非認知能力」も育んでいきます。 主体性、自己肯定感、表現力、自己効力感、集中力、創造力、柔軟性、多様性、共感力、協調性...etc	子どもの成長を願うものの「どんな声をかけたらいいの?」「叱って良いの?」「こんな時はどうすればいいの?」「嫌われないかなあ?」「子どもへの関わり方は?」「パパの役割はなに?」パパも子育て1年生。ここで情報交換や、新たな学びでパパも一緒に成長のお手伝い。
	対象	0歳～小学生 兄弟・保護者	0歳児のパパから幼稚園、こども園、小学校のパパまで
	参加人数	20名	20名



団体のミッション	きれいな海を守る心を広げる
今後のNPO活動における抱負	クリーンアップ活動をはじめ、海の環境を学ぶ会の活動への参加者を増やすための工夫をし、より多くの人にきれいな海を守る心を広げていきたい。
SDGs関連活動についての一言宣言	「SDGs14海の豊かさを守る」に関わって活動を深めるとともに、漂着ゴミのない海にするために「SDGs12つくる責任つかう責任」についても理解を深める
SDGs関連活動	<p>14海の豊かさを守る 毎月のクリーンアップ活動や年間10回ほどの海の環境を学ぶ会を開催し、きれいな海を守ることの大切さを訴えている</p> <p>12つくる責任つかう責任 クリーンアップ活動で拾うゴミは人間が作り出したもの。使う側の意識を高めるための広報活動にも力を入れている</p> <p>17パートナーシップで目標達成 毎月の活動を企業や行政と協働することで海の現状を広く知らせ、きれいな海を守る心を広げている</p>
企業・学校との連携	学校、企業の皆さん、ぜひ海のクリーンアップ活動に参加して、海の現状について考えてください！

「タッチングプールで購入した魚の費用(54,000円)の一部として活用」
海に感謝する活動として実施している「タッチングプール」を開催

概要	事業名等	海の環境を学ぶ会～タッチングプール	
	日時(期間)	2024年10月27日	
	場所	渥美半島休暇村伊良湖キャンプ場	
	内容	定置網で上がった新鮮な魚を魚市場から直送してもらい、参加者は生き活きの海の魚たちに触ったり、そして食べたりする	
	対象	一般	
	参加人数	参加者17人(親子5組)	スタッフ10人

寄附金の活用状況

寄附金額
50,000円

具体的な状況





NPO法人Grow & Leap



所在地：名古屋市東区

<https://growandleap.com/>



団体のミッション	「じぶんの個性」を原点に、「みんなの未来」を描く力を育む。 同じ映画やニュース、出来事を前にして、全く同じことを感じ、考える人はいません。Grow & Leapは、「個性」を世界に1人しかいない、あなたが見て聴いて、接してきた全ての経験から生まれる、あなただけの価値であると捉えます。そんな「じぶんの個性」を原点にしながら、「みんなの未来」を描く力を、丁寧な1対1での対話の機会と異世代間交流での多様な価値観との出会いを通じて育てていきます。
今後のNPO活動における抱負	社会全体で中高生の自分らしいキャリアデザインを応援していく仕組みとコミュニティをつくっていきます。またNPO法人の認定取得を目指し、より多くの中高生にその機会を届けていきます。
SDGs関連活動についての一言宣言	パートナーシップによって、社会全体で中高生を育み、各分野の次世代リーダーを輩出していきます。
SDGs関連活動	<p>④、⑰ ESD (Education for Sustainable Development) 中高生の自分らしい将来設計・多重知能発掘の機会の提供</p> <p>活動内容 中高生の「個性(感じたこと、考えたこと)」を起点とした自分らしいキャリアデザインを促す約半年間のプログラムをメイン事業として活動しています。ナナメの関係から大学生メンターが1対1で中高生に伴走し、一人の受講生に対して1回90分のメンタリングを24回実施します(週1回ペース)。メンタリングでは、自己分析を中心とした自己探究やイベント企画、社会人へのインタビューなどに取り組む社会探究を行ない、言語化していく過程の中で、自分が生きていく上で大切にしたいことや大切にしたい価値観に気づいていきます。また、交流会や中間発表会、最終プレゼン会など、同世代からの刺激を受ける機会も組んだり、メンタリングの際に理想の自分に近づくための成長サイクルを回すサポートをしたりしながら、自己成長も促しています。</p> <p>その他には、多重知能理論をベースに、学校や塾では発掘されにくい、中高生が持っている多様な才能や感性、価値観に自ら気づく機会を作っています。ダンス個性教育、自然体験ツアー、まちづくりワークショップなどの例があります。</p>
企業・学校との連携	活動は、多様なステークホルダーとのパートナーシップによって実現しています。大企業のCSRやオープンイノベーション、中小企業の経営者、起業家からの専門知識の共有等があげられます。

「中高生に自分らしいキャリアデザインを描く機会を届けました！」

寄附金の活用状況 寄附金額 50,000円	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="403 1355 483 1794" rowspan="6">概要</td> <td data-bbox="483 1355 643 1417">事業名等</td> <td data-bbox="643 1355 1466 1417">My Story Project</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1417 643 1480">日時(期間)</td> <td data-bbox="643 1417 1466 1480">2024年8月～2025年3月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1480 643 1543">場所</td> <td data-bbox="643 1480 1466 1543">Zoom(オンライン)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1543 643 1677">内容</td> <td data-bbox="643 1543 1466 1677">約半年間かけて自己探究と社会探究を実施し、感性や思考を大切にしながら、自分のキャリアについて向き合う時間を提供。大学生メンターが1対1で伴走し、自己探究や社会探究を通して、自分が大切にしたいものを発見・確認していききました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1677 643 1740">対象</td> <td data-bbox="643 1677 1466 1740">全国の中学生・高校生</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1740 643 1798">参加人数</td> <td data-bbox="643 1740 1466 1798">32名</td> </tr> </table>	概要	事業名等	My Story Project	日時(期間)	2024年8月～2025年3月	場所	Zoom(オンライン)	内容	約半年間かけて自己探究と社会探究を実施し、感性や思考を大切にしながら、自分のキャリアについて向き合う時間を提供。大学生メンターが1対1で伴走し、自己探究や社会探究を通して、自分が大切にしたいものを発見・確認していききました。	対象	全国の中学生・高校生	参加人数	32名
	概要		事業名等	My Story Project										
日時(期間)			2024年8月～2025年3月											
場所			Zoom(オンライン)											
内容			約半年間かけて自己探究と社会探究を実施し、感性や思考を大切にしながら、自分のキャリアについて向き合う時間を提供。大学生メンターが1対1で伴走し、自己探究や社会探究を通して、自分が大切にしたいものを発見・確認していききました。											
対象			全国の中学生・高校生											
参加人数		32名												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="403 1803 483 2107">具体的な状況</td> <td data-bbox="483 1803 730 2107"> 中高生と一緒に、自分の人生について振り返ったり、自分の関心領域で活躍する社会人の方にインタビューしたりしました。 </td> <td data-bbox="730 1803 1466 2107">   </td> </tr> </table>	具体的な状況	中高生と一緒に、自分の人生について振り返ったり、自分の関心領域で活躍する社会人の方にインタビューしたりしました。	 											
具体的な状況	中高生と一緒に、自分の人生について振り返ったり、自分の関心領域で活躍する社会人の方にインタビューしたりしました。	 												



NPO法人Smiley Dream



所在地：知多郡武豊町

https://www.smileydream-web.net/

団体のミッション	子育て中の女性を主とした若い世代の女性に対して資格・特技・趣味などを生かした社会参画のサポートに関する事業を行い、社会からの隔離・閉塞感、子どもへの虐待に係る問題の改善や解決を図り、社会的地位の確立と女性の社会参画の増進に寄与することを目的とする。
今後のNPO活動における抱負	子育て家庭へのアウトリーチ活動や子どもたちの居場所づくりに引き続き取り組みます。また、地域で支援される人が支援する側になれる「恩送りの循環」の土壌づくりに努めます。
SDGs関連活動についての一言宣言	その人が持っている力を活かした寄り添い型支援を続けていきます！

SDGs関連活動	<p>■ 1,3,10,12 こども食堂</p> <p>月に1回第3日曜日に不登校や外国籍、発達に不安のある子どもなどを対象に、レクリエーションとフードパントリーまたは食事の提供を行っている。武豊町社会福祉協議会、ファミリーマートからの食材提供を受けている。また、相談を受ける場でもあり、必要な場合は行政担当課や連携機関を紹介、同行している。</p> <p>■ 1,3,12 おもちゃ図書館・セレモニー衣装の無料レンタル</p> <p>不要となったおもちゃの提供を受け、1回2点、2週間おもちゃの貸し出しを行っている。子育ての相談を受けることも多い。孫を連れた祖父母が来られることもあり、子どもの年齢に合ったおもちゃの紹介や、現在の子育て事情などをお伝えしている。セレモニー衣装の無料レンタルは、1度しか使わないイベント衣装を購入する家庭や家庭事情で購入できず辛い思いをする家庭を無くすために行っている。家庭事情についてこのレンタルがきっかけで相談を受けることもある。</p> <p>■ 8 育児休業中の子育て支援・女性活躍推進事業</p> <p>育児休業を取得している家庭を対象とした講座の開催。LINEグループを運営し、受講者の復帰後のサポートも行っている。また、受講者で女性であるが故の不当な扱いを受けた方の相談対応も行っている。講座開催を機につながりのできた7企業の人事担当者と定期的に情報交換会を開催している。</p> <p>■ 3,4 学校に行かない、あるいは行けないこどもの居場所運営とその保護者のためのサロン運営</p> <p>■ 4,11,16,17 家庭教育支援・ホームスタート</p> <p>■ 5,10,17 男女共同参画啓発</p> <p>■ 3,10,16,17 児童虐待防止(オレンジリボン活動) オレンジファミリーフェス開催</p> <p>■ 11 拠点運営</p>
----------	---

企業・学校との連携	企業の皆さん、私たちと一緒に子育て中の社員を笑顔にしませんか？ 育休中、育休明け社員向けの両立支援研修も充実しています。
-----------	---

寄附金の活用状況	寄附金額 150,000円	家庭訪問型子育て支援事業「ホームスタート」の啓発活動とボランティアのスキルアップ研修を行います											
	概要	<table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>家庭訪問型子育て支援事業 ホームスタート「HSスマイリー-たけとよ 交流研修会」</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>年間を通して実施</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>武豊町中央公民館 等</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>きせつの工作、子育て講座等の開催とホームスタートの啓発及び訪問ボランティア研修</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>妊婦または未就学児のいる家庭、訪問ボランティア</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>15～20家庭、訪問ボランティア30名</td> </tr> </table>	事業名等	家庭訪問型子育て支援事業 ホームスタート「HSスマイリー-たけとよ 交流研修会」	日時(期間)	年間を通して実施	場所	武豊町中央公民館 等	内容	きせつの工作、子育て講座等の開催とホームスタートの啓発及び訪問ボランティア研修	対象	妊婦または未就学児のいる家庭、訪問ボランティア	参加人数
事業名等	家庭訪問型子育て支援事業 ホームスタート「HSスマイリー-たけとよ 交流研修会」												
日時(期間)	年間を通して実施												
場所	武豊町中央公民館 等												
内容	きせつの工作、子育て講座等の開催とホームスタートの啓発及び訪問ボランティア研修												
対象	妊婦または未就学児のいる家庭、訪問ボランティア												
参加人数	15～20家庭、訪問ボランティア30名												
具体的な状況	ホームスタート利用者と、対象のお子さんや妊婦さんのいるご家庭に向けてクリスマス会を実施しました。イベントでは実際に家庭を訪問するボランティア(ホームビジター)と触れあう機会にもなっており、安心してホームスタートを利用してもらえる仕組みとなっています。また、ホームビジターのスキルアップ研修として傾聴や産前産後ビジター養成講座などを実施していく予定です。	 											



0_COLOR(ゼロカラー)



所在地：犬山市

https://www.instagram.com/0_color.lgbt/

団体のミッション	LGBTQ+を知ってもらい、全ての人が生きやすい世の中をつくる
今後のNPO活動における抱負	認知、周知を増やすこと
SDGs関連活動についての一言宣言	知ってもらうことでジェンダーの平等への意識化
SDGs関連活動	5,8,10,11 小学校教員LGBTQ+講習 企業(人事労務)でのLGBTQ+研修 地域イベントへのタオルディベア作り体験ワークショップ出店
企業・学校との連携	学校や企業において、LGBTQ+についての理解を目的とした研修を開催できます。 企業の皆さん、多様な人材を採用しませんか？今までのこうあるべきという固定概念をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会を目指しましょう！

「地域イベントのマルシェに出店し、豚汁を販売予定。そのための機材を購入します。」
地域イベントのマルシェに出店し豚汁を販売予定のため、その機材購入費用にあてます。

概要	事業名等	マルシェ出店
	日時(期間)	2025年4月頃
	場所	犬山市内
	内容	地域イベントにて露店飲食店を出店します。 (豚汁を販売予定)
	対象	イベントにきた人
	参加人数	100名程度

調理器具、食器等を購入する予定です。
(写真はイメージ)



過去参加したマルシェの様子



具体的な状況

寄附金の活用状況

寄附金額

50,000円



NPO法人てんぱくプレーパークの会



所在地：名古屋市天白区

<https://tenpaku-playpark.net/>

団体のミッション	天白公園内の冒険の山地域を中心に、子どもたちが、色々な年齢層の人々と関わり、自然にふれ、「やってみたい」と思う好奇心や欲求を、自らの手で実現できるような、自由に開かれた遊び場を目指す。そして子どもと共に健やかな社会づくりに貢献することを目的とする。
今後のNPO活動における抱負	団体の活動意義を多くの人に知ってもらい、子どもたちが自由な遊びを通して、自分の人生をデザインしていけるよう、専門性をもつプレーワーカーの給料保障ができていない現状を打開するために、寄付で応援してくれる人たちを増やしたい！
SDGs関連活動についての一言宣言	子どもたちが地域でのびのびと自由に遊び育つ環境を 保障する！
SDGs関連活動	<p>③,④,⑬,⑰ 自然豊かな公園にある、冒険遊び場</p> <p>①,③,⑤,⑪,⑬ いつでも・誰でも・無料で、他年齢の人たちが集まる地域コミュニティの場</p> <p>①,③,⑪,⑬,⑰ 子どもたち、親子への安心な居場所提供</p> <p>①,③,④,⑤,⑪,⑬,⑰ 子どもの社会参画事業</p> <p>①,③,④,⑤,⑪,⑬ 地域住民による参加型の運営</p>
企業・学校との連携	天白区の企業の皆さん、私たちとパートナーになって、子どもたちの育ちを一緒に守りませんか？

「(子どもが自由に遊べる環境を保障、大人の必要以上の干渉から子どもを守り、時には子どもの代弁者の役割をもつ)プレーワーカーの給料費用に、使わせていただきました。」

寄附金の活用状況	寄附金額	50,000円											
	概要	<table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業(日常開園)</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>年間を通して活動</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>てんぱくプレーパーク(天白公園内)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>誰でも無料で遊べる、てんぱくプレーパーク。火曜～金曜(月1回土日)の常設型プレーパークとして、子どもをまんなかにした地域の居場所でもあります。子どもたちにとって生きることに欠かせない、自由な遊び(子どもの権利条約第31条)を保障し、子どもたちの自ら「やってみたい」好奇心に寄り添い、見守っています。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>だれでも(0才～120才)</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>年間約9,000人、1日平均約50人(延べ人数)</td> </tr> </table>	事業名等	遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業(日常開園)	日時(期間)	年間を通して活動	場所	てんぱくプレーパーク(天白公園内)	内容	誰でも無料で遊べる、てんぱくプレーパーク。火曜～金曜(月1回土日)の常設型プレーパークとして、子どもをまんなかにした地域の居場所でもあります。子どもたちにとって生きることに欠かせない、自由な遊び(子どもの権利条約第31条)を保障し、子どもたちの自ら「やってみたい」好奇心に寄り添い、見守っています。	対象	だれでも(0才～120才)	参加人数
事業名等	遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業(日常開園)												
日時(期間)	年間を通して活動												
場所	てんぱくプレーパーク(天白公園内)												
内容	誰でも無料で遊べる、てんぱくプレーパーク。火曜～金曜(月1回土日)の常設型プレーパークとして、子どもをまんなかにした地域の居場所でもあります。子どもたちにとって生きることに欠かせない、自由な遊び(子どもの権利条約第31条)を保障し、子どもたちの自ら「やってみたい」好奇心に寄り添い、見守っています。												
対象	だれでも(0才～120才)												
参加人数	年間約9,000人、1日平均約50人(延べ人数)												
具体的な状況	<p>天白公園内の地域に開けた場にあり、午前は未就園児の親子、午後は地域の幼稚園帰りの親子や小学生たちが集う。学校が早帰りや仕事が休みで、中高生や社会人の子たちもふらっと遊びにきたり、学校を休みたいと思う子にとっても居場所の1つである。</p> <p>多年齢が集い、お互いを対等に認め合うことで、子どもも大人も、ありのままの自分でいられる日常がある。</p>												





ねんねサロン岡崎



所在地：岡崎市

<https://www.instagram.com/nenne.salon.okazaki/>



団体のミッション	岡崎市から、夜泣きをする赤ちゃん、寝かしつけに悩む保護者をなくしたい。 私たちは、乳幼児の睡眠の改善を通じて、岡崎市の地域全体で子育てをしていけるように、コミュニティ(まち・地域・人のつながり・集う場所)と確かな専門知識を提供し、生き生きと子育てができるように取り組みます。
今後のNPO活動における抱負	弊団体のミッションである、夜泣きをする赤ちゃん、寝かしつけに悩む保護者をなくすべく、活動を活発化させていきます。 ・夜泣きはなおるとのこと ・乳幼児期からの睡眠習慣の重要性 ・子の睡眠改善によって保護者の睡眠習慣は守られ、日中のパフォーマンスは向上すること これらが知られていき、睡眠から社会を元気にしていく取り組みを継続します。
SDGs関連活動についての一言宣言	すべての乳幼児とその保護者の健やかな睡眠習慣をサポートし、元気なまちづくりに貢献します
SDGs関連活動	③,⑤,⑧ 乳幼児の睡眠改善、産後鬱の予防を目的として岡崎市にて乳幼児をもつ保護者を対象とした育児相談の場「ねんねサロン」を月に1度開催している。
企業・学校との連携	企業の皆さん、子育て中の社員が睡眠不足になっていませんか？子どもの睡眠改善で親の睡眠も改善され、仕事でもパフォーマンスを発揮できるようになります。 社員向けセミナーや相談窓口の対応が可能です。ぜひお声がけください。

いつでもどこでも出張講座をするために、プロジェクター・スクリーンを購入します。
周知活動として、より多くの方々に参加していただけるように講座を多く開催していきたいと考え、プロジェクター・スクリーンの購入費用に充てます。

寄附金の活用状況	事業名等	岡崎ねんね改善プロジェクト2025
	日時(期間)	①2025年6月21日 ②2025年9月14日
	場所	岡崎市南部市民センター
	概要 内容	①保護者向けねんね講座 月齢/年齢別の良い睡眠環境・睡眠習慣についてよくある睡眠トラブルとその対処法 質問・個別相談タイム ②広域講座 睡眠改善により、個人や企業の生産性を向上を図る 育児支援者として必要な乳幼児の睡眠の知識提供
	対象	①乳幼児をもつ保護者 ②育児支援者・企業の人事・福利厚生担当者等
	参加人数	①12組 ②50名
具体的な状況	<p>当イベント後も、どこでも出張講座を開催できるように、持ち運びの容易なタイプのスクリーンとプロジェクター投影機を購入します。</p>  	

SDGsセミナー

▶ 参加人数

2022年度	2023年度	2024年度	総数
67名	45名	41名	153名

▶ 参加NPO数(複数回参加団体は、初参加の年度のみカウント)

2022年度	2023年度	2024年度	総数
48団体	27団体	19団体	94団体

▶ 3年間を通じて多く寄せられた参加者の声

「SDGsを軸として、団体としての存在価値を考え直す良い機会となった。」

「自分たちの志をもう一度見直し、利害関係者や協働関係者について考えることが重要だと感じた。」

「NPOが企業と協働していくことや、NPOが社会にどう貢献していくのかなど、自団体の今後の活動にとっても参考となった。」

NPOアワードに向けたプレゼン研修

▶ 参加人数

2022年度	2023年度	2024年度	総数
26名	19名	18名	63名

▶ 3年間を通じて多く寄せられた参加者の声

「対面で細かい指導をしてもらったことで、自分のプレゼンの課題がクリアになった。」

「伝えたい情報の整理の仕方や資料の作り方が非常に参考になり、今後にも活かせることがたくさんあった。」

「自団体を外から見る視点が必要であることを学び、SDGsについて深く考えるきっかけにもなった。」

NPOアワード

▶ 各年度の受賞結果

2022年度名古屋会場

	団体名
1位	NPO法人こまき市民活動ネットワーク
2位	NPO法人オフィス・マハロ
2位	NPO法人多文化共生サポートAdagio
4位	NPO法人知多地域権利擁護支援センター
5位	NPO法人おさんぼや

2023年度

賞	団体名
住友理工賞グランプリ	社会福祉法人せんねん村多文化ルームKIBOU
住友理工賞準グランプリ	NPO法人みんなのひみつきち
審査員特別賞	NPO法人とこっ子
入賞	NPO法人アスクネット
入賞	NPO法人田舎暮らし支援センター
入賞	NPO法人刈谷おもちゃ病院
入賞	NPO法人ファミリーステーションRin
入賞	NPO法人ゆめはーと

2022年度豊橋会場

	団体名
1位	認定NPO法人アジア車いす交流センター
2位	学校が苦手な子と親の居場所おこのみ会
3位	NPO法人青ねこくらぶ
4位	NPO法人地域福祉サポートちた
5位	NPO法人クオーレ

2024年度

賞	団体名
住友理工株式会社賞	NPO法人いるから
愛知株式会社賞	NPO法人Smiley Dream
入賞	親子コミュケの会
入賞	NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊
入賞	NPO法人Grow & Leap
入賞	0_COLOR
入賞	NPO法人てんぱくプレーパークの会
入賞	ねんねサロン岡崎

▶ **参加県民の人数**（2023年度、2024年度のSDGs AICHI EXPOメインステージでの参加者は除く。）

2022年度	2023年度	2024年度	総数
110名	58名	37名	205名

▶ **3年間を通じて多く寄せられた参加県民の声**

- 「皆さんの熱量を感じることができた。とても良い勉強になった。」
- 「特に意見交換でのフリートークで、関係者の意図や熱意が伝わってきた。」
- 「気付かないところで色々な地域課題が存在し、その解決に尽力している人がいることが頼もしいと思った。」

実地体験

▶ **参加NPO**

2022年度	2023年度	2024年度
・認定NPO法人アジア車いす交流センター ・NPO法人こまき市民活動ネットワーク	・社会福祉法人せんねん村多文化ルームKIBOU ・NPO法人みんなのひみつきち	・NPO法人いるから ・NPO法人Smiley Dream

▶ **参加県民の人数**

2022年度	2023年度	2024年度	総数
9名	9名	11名	29名

▶ **3年間を通じて多く寄せられた県民の声**

- 「団体の活動が具体的によくわかった。」
- 「自分のこれからの活動にも役立つ情報がありよかった。」

協働支援

- ・2023年度は、NPO法人多文化共生サポートAdagioに愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンターの学生がボランティア参加するきっかけづくりを支援しました。
- ・2024年度は、NPO法人とこっ子の事業企画において、日本福祉大学の学生の参加を促し、どのように活動を進めていくかについて支援しました。

協賛団体

2022年度	2023年度	2024年度
・東海労働金庫 ・株式会社サーラコーポレーション	・住友理工株式会社	・住友理工株式会社 ・愛知株式会社

3年間の持続可能な社会の創り手育成事業を終えて

参加NPOに向けたアンケートでは、NPOの皆様から、総じて高い満足度の評価をいただきました。当事業がNPOの活動の可能性を広げ、次代の担い手を育成することへの一助となったと確信しております。

今後は、より多くの県民の皆さまに、NPOの活動を知っていただくことが課題となりますが、NPOと学校や企業・大学等の協働を進めることで、NPOの活動が地域社会に認知され、多くの人々の共感、参加へとつながると考えております。

当事業は今年度で終了いたしますが、今後は「あいち協働プラットフォーム(あいプラット)」を活用するなどして、引き続き社会活動を推進してまいります。

協賛団体を始め、ご参加いただいたNPO、県民の皆さまに、あらためてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



発行：2025年3月

主催：愛知県（県民文化局県民生活部社会活動推進課）

受託団体：特定非営利活動法人中部プロボノセンター